

こんにちは日本共産党村議の 川崎あつ子です

2009年 5月 23日 20

ご相談はお気軽にお寄せください

〒319-1106 東海村白方284-1 TEL/FAX 029-282-0229
atsukok@nexyzbb.ne.jp

村長・知事に 東海第2原発のプルサーマル計画中止を申し入れ

「安全第一。大きな事故あれば 村の将来はない」 村長

日本共産党東海村議団は、5月19日に村上達也東海村長、同20日に橋本昌茨城県知事に、日本原電東海第二原発のプルサーマル計画中止を求め、申し入れを行いました。

1. 日本原電に対し、東海第二原発でのプルサーマル計画の撤回を申し入れること。

2. 東海第二原発は、老朽化の影響も考慮した総点検を実施し、運転停止を含めた必要な措置をとるよう日本原電と国に求めること。

3. 国に対し、プルトリウム循環計画を中止し、原発の危険を増幅するだけのプルサーマル計画はとりやめるよう求めること。

4. 県に対し、東海第二原発でのプルサーマル計画の撤回

を申し入れること及び、原電からの事前了解の申し入れには同意しないことを求めること。

村上村長は、「原電、国の政策のはざままで悩みは深い」「安全第一。もう一度大きな事故あれば、村の将来はない」と語りました。

県担当者は、「原電から具体的な内容は聞いていないので対応のしようがない」という無責任な回答に終始しました。



川崎、大名村議、田谷党県委員長、大内、山中県議、県担当者

日本共産党村議団は、5月13日～14日、宮城県涌谷町町民医療福祉センターと郡山市三穂田町の産廃処分場建設阻止住民の会を視察してきました。

1日目は、「町民医療福祉センター」施設見学及び事業概要とセンター事業と町行政の関わりの概要を聴き取り、これ

らの教訓を、本村の保健・医療・福祉事業の充実に活かしたい。また、2日目は郡山市三穂田町産廃処分場建設阻止住民の会に学び、本村における、産業廃棄物償却施設建設反対住民運動の今後の支援活動に活かして行きたいとの思いから学んできました。

視察

郡山市三穂田町産廃処分場建設阻止住民の会

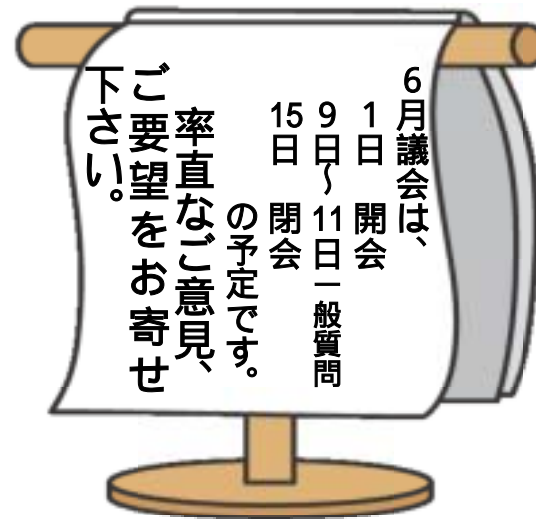
「命と環境を守る会」のたたかいは、自覚的なねばり強い住民運動と真正面から業者に断念を迫った裁判があった。だから「将来にわたり建設しないという全面勝利で決着がついた」と言う声が各方面から寄せられたそうです。



宮城県涌谷町民医療福祉センターの青島孝徳センター長(写真)は手術を終えてすぐかけつけ、対応して頂きました。「住民に対して身近で総合的・継続的なサービスを展開し、住民が主体的に健康づくりや地域づくりに励めるようになることをめざしていること。町民と医療福祉センター職員が相互に協力していくことが必要であること。いつでもどんなことでも気軽に相談にのれること。体のことばかり



ではなく心の問題、人とのふれあい、生活全般に気配りできること。ずつと長くお付き合いできることが私たちの仕事です」と熱く語っていただきました。



安心して働き、暮らせるルールある日本社会実現へ、政治の中身を変える日本共産党。

比例代表選挙は

日本共産党へ

バックナンバーは <http://jcp-net.jp/ibahoku/toukai/kawasaki/> でお読みいただけます